

お客さま本位の業務運営の取組状況

2020年6月5日
結城信用金庫

当金庫では、2018年3月に「お客さま本位の業務運営にかかる基本方針」を策定・公表し、お客さまの最善の利益の追求と家計の長期・安定的な資産形成のサポートに取り組んでおります。

今般、2020年3月末時点の取組状況（成果指標：K P I）を公表いたします。今後も定期的に公表するとともに、随時、取組内容を見直してまいります。

1. 当金庫独自の成果指標の取組み状況について

(1) お客さまの家計の長期・安定的な資産形成に適う商品・サービスの提供に努めます。

取組状況

- ・2020年3月から、高配当利回株に投資する国内株式型投信と国内株式、不動産、海外債券に投資するバランス型投信を設定しました。また、つみたてNISA専用商品では世界経済の成長力を取り込む海外株式投信を追加設定しました。
- ・上記の結果、お客様の長期資産形成に適している「1年決算型」の商品が2商品増加したほか、「つみたてNISA専用商品」のラインナップも1商品増加しました。

○投資信託取扱商品数

《投資対象別》

	債券	REIT	株式	バランス
国内	1	2	5(1)	0
国内外	1	0	1	3(1)
海外	7	2	2	0
合計	9	4	8(1)	3(1)

《決算頻度別》

年1回	年2回	四半期	毎月	合計
11(2)	1	2	10	24

《NISA専用商品》

国内株式	海外株式	バランス	合計
2	1(1)	1	4(1)

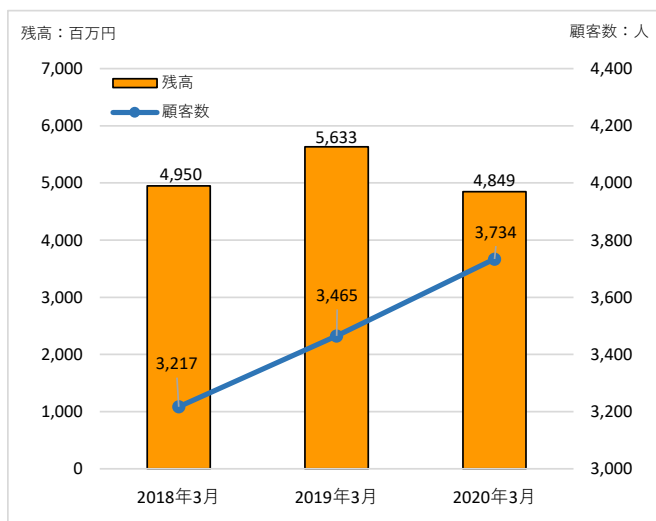
※カッコ内は2020年3月より取扱開始した商品区分を表記（内数）。

(2) お客さまのライフプランやニーズに応じた最適な商品・サービスをご提案します。

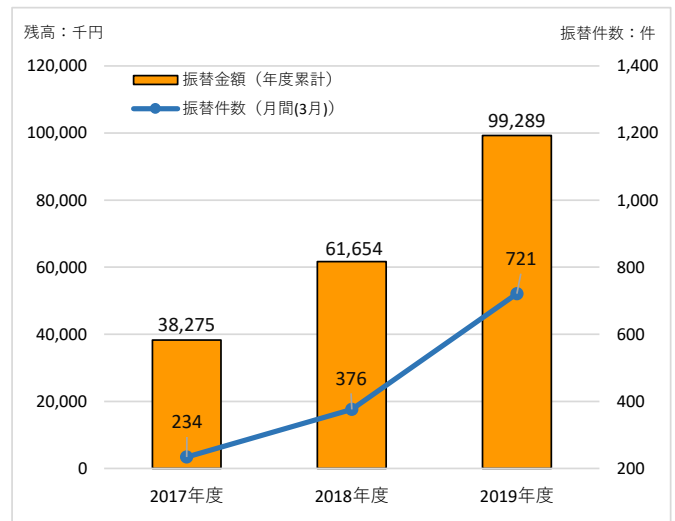
取組状況

- ・当金庫では、投資信託をお客さまの長期・安定的な資産形成をサポートする商品と位置づけ、預かり資産残高や定時定額の取引件数を重視した営業活動を展開しております。
- ・2020年3月末の顧客数は増加し、定時定額取引の振替件数・振替金額も増加しております。
- ・2019年度は、投資信託販売に占める積立投資の比率が3.2%増加して9.3%となりました。また、販売に占める毎月分配型以外の比率は5.0%増加して26.0%となりました。

○投資信託残高および顧客数の推移



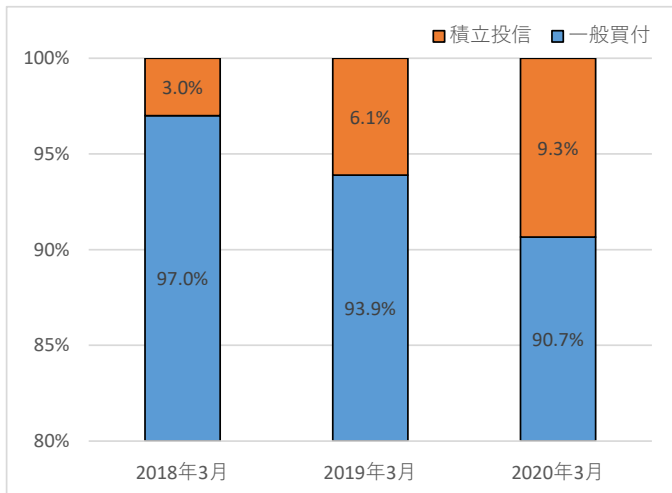
○定時定額振替件数および振替額の推移



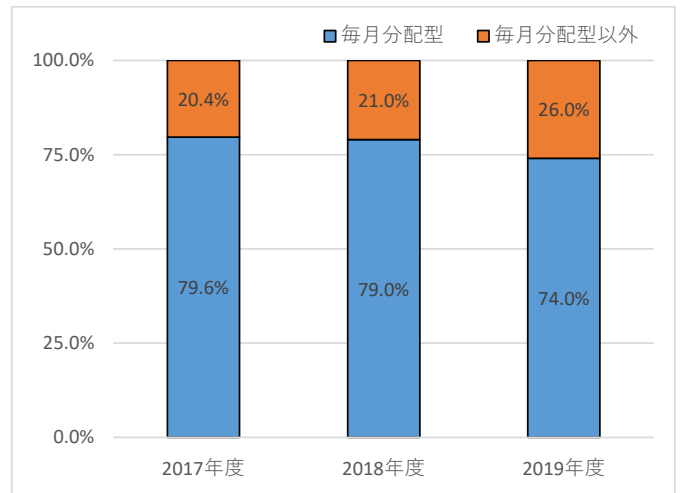
○NISAの利用状況

	2017年	2018年	2019年
NISA口座数	847	825	908
NISA利用口座数	314	313	335
NISA利用額(千円)	198,760	179,769	161,434
つみたてNISA		4,175	10,535
NISA口座利用率	37.1%	37.9%	36.9%

○販売に占める積立投資の割合



○投資信託販売に占める毎月分配型の販売比率



(3) 商品・サービスのご提案にあたって、適切な情報をわかりやすくご説明いたします。

取組状況

- ・投資信託商品の販売にあたっては、説明書や各種パンフレットを用いて丁寧かつ分かりやすい説明に努めております。また、お客さまに投資信託への理解を深めていただくため、一部の店舗でモーニングスター社が提供するタブレットアプリ「Wealth Advisors (ウェルスアドバイザーズ)」を試験導入しました。
- ・お客さまへの適切な情報提供の一環として、しんきんアセットマネジメント(株)を講師に招き「最近の金融市場動向と今後の相場見通し」と題した資産運用セミナーを開催しました。
- ・投資信託を保有しているお客さまに対しては、庫内ルールに則りアフターフォロー活動を継続しております。今年度は、延べ1,161先のお客さまに対して契約商品の状況をご説明し、ご要望等をお聞きしました。

○タブレットアプリの画面



○第1回資産運用セミナーの様子



○アフターフォロー実施状況

投信保有顧客数	実施顧客数	カバー率
3,734	1,161	31.1%

※投信保有顧客は2020年3月末時点の顧客数、アフターフォロー実施顧客はのべ人数を記載しております。

(4) お客さまとの利益相反管理を徹底します。

取組状況

- 当金庫では「利益相反管理方針」をホームページなどで開示し、内部規定である「利益相反管理規程」に基づいて管理を徹底しております。また、管理態勢の適切性についても、主管部署を中心に検証しております。

(5) お客さま本位の業務運営の実現・定着に向けて、人材育成や態勢整備に努めます。

取組状況

- 当金庫ではFP資格の取得を奨励しております。また、お客さま本位の提案力向上のため、今年度は計5回の社内研修を実施し、のべ129人の職員が参加しました。

○FP保有者数

資格	2018年度	2019年度
FP 1 級	2人	2人
FP 2 級	43人	43人

○2019年度預かり資産推進講座研修

	2017年度	2018年度	2019年度
開催回数	3回	5回	5回
受講者数合計	107人	153人	129人

2. 金融機関共通の成果指標について

(1) 投資信託の運用損益別お客さま比率の状況

状況

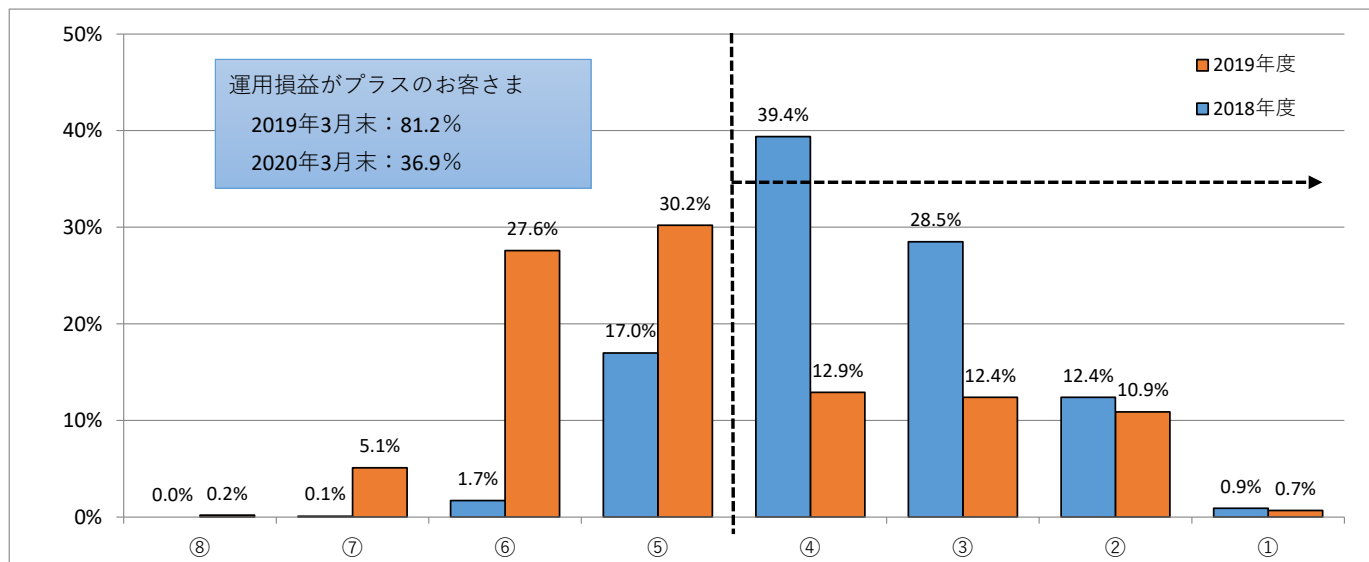
- 当金庫で投資信託を保有するお客さまのうち、2020年3月末現在で受取配当金を含む運用損益がプラスのお客さまの比率は36.9%となりました。
- 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、投資信託の基準価額が大きく変動した為、お客さまの運用損益への影響がありました。

【2019年3月】

区分	運用損益	顧客数	割合
①	+50%以上	21	0.9%
②	+30%以上+50%未満	287	12.4%
③	+10%以上+30%未満	661	28.5%
④	0%以上+10%未満	914	39.4%
⑤	-10%以上0%未満	395	17.0%
⑥	-30%以上-10%未満	39	1.7%
⑦	-50%以上-30%未満	2	0.1%
⑧	-50%未満	0	0.0%
		2,319	100.0%

【2020年3月】

区分	運用損益	顧客数	割合
①	+50%以上	17	0.7%
②	+30%以上+50%未満	273	10.9%
③	+10%以上+30%未満	310	12.4%
④	0%以上+10%未満	321	12.9%
⑤	-10%以上0%未満	754	30.2%
⑥	-30%以上-10%未満	690	27.6%
⑦	-50%以上-30%未満	127	5.1%
⑧	-50%未満	6	0.2%
		2,498	100.0%



※原則として2003年6月以降の数値をもとに算出しております。

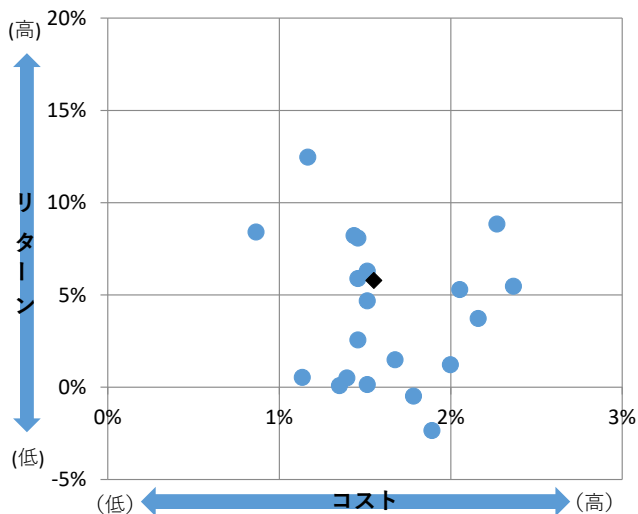
(2) 投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン、リスク・リターン（設定後5年以上）

状況

- ・当金庫の投資信託預かり残高上位20銘柄のリスク、リターン、コストの平均値は、リスクが11.08%、リターンが-0.74%、コストが1.55%となっております。
- ・投資信託預かり残高上位20銘柄のコストの平均値は、1.55%と前期と変わらなかったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、投資信託の運用環境が悪化し、リスクは拡大、平均リターンは低下しました。
- ・今後も、商品ラインナップの充実を図るとともに、お客さま一人ひとりの「コスト負担」や「リスク許容度」「期待されるリターン」にあわせた提案に努めます。

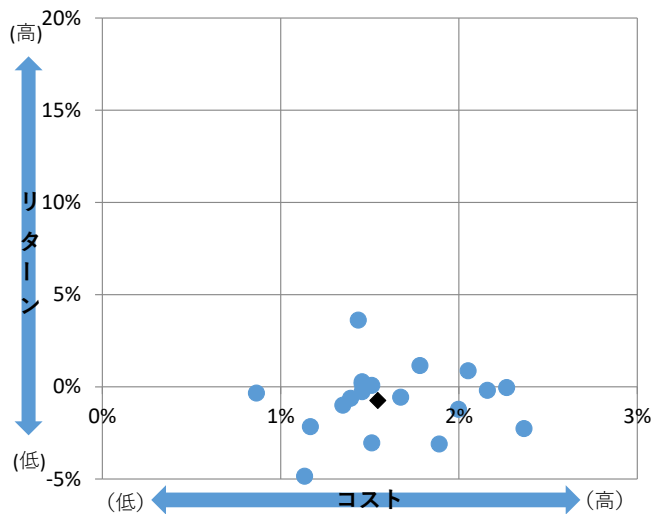
○投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン

【2019年3月】



残高加重平均値 (◆)	コスト	リターン
	1.55%	5.78%

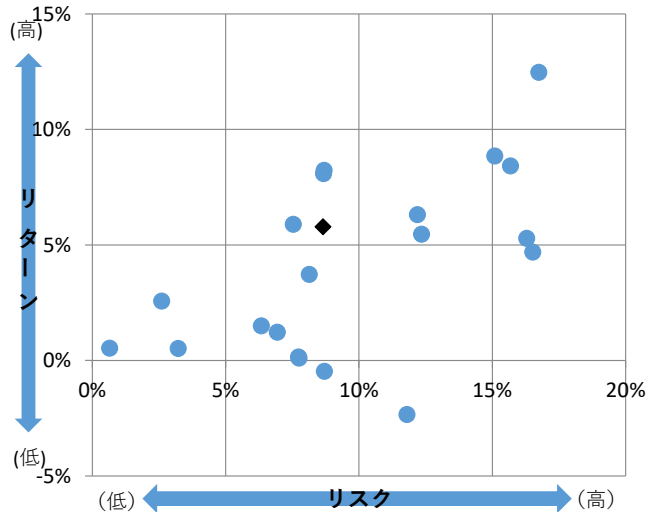
【2020年3月】



残高加重平均値 (◆)	コスト	リターン
	1.55%	-0.74%

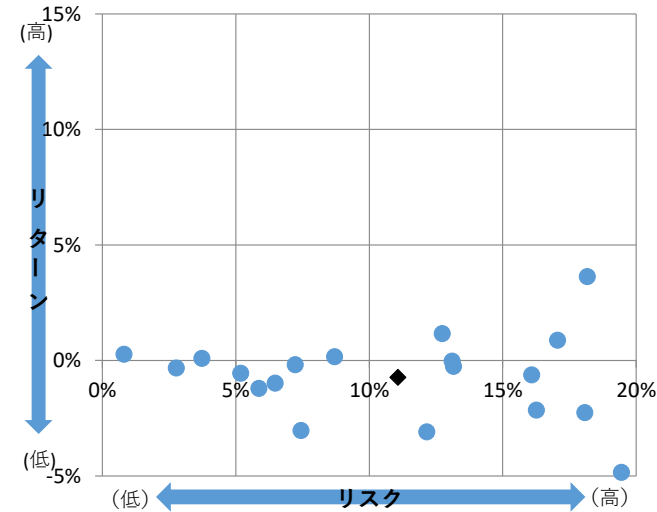
○投資信託預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン

【2019年3月】



残高加重平均値 (◆)	リスク	リターン
	8.65%	5.78%

【2020年3月】



残高加重平均値 (◆)	リスク	リターン
	11.08%	-0.74%

○預かり資産上位20銘柄の個別明細

【2019年3月】

順位	銘柄名	リスク	コスト	リターン
①	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	8.67%	1.46%	8.08%
②	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	7.54%	1.46%	5.89%
③	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	8.14%	2.16%	3.73%
④	D I A M高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	7.74%	1.51%	0.15%
⑤	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	6.34%	1.67%	1.49%
⑥	ニッセイ日本インカムオープン	0.65%	1.13%	0.54%
⑦	しんきん世界アロケーションファンド	2.61%	1.46%	2.57%
⑧	しんきんインデックスファンド225	15.68%	0.86%	8.42%
⑨	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	16.29%	2.05%	5.29%
⑩	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)	16.52%	1.51%	4.69%
⑪	三井住友・グローバル・リート・オープン	12.35%	2.37%	5.47%
⑫	D I A M高格付外債ファンド	11.81%	1.89%	-2.34%
⑬	三井住友・ヨーロッパ国債ファンド	7.75%	1.35%	0.10%
⑭	コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)	3.22%	1.39%	0.51%
⑮	新光US-REITオープン(年1回決算型)	15.09%	2.27%	8.85%
⑯	日経225リスクコントロールオープン	12.20%	1.51%	6.30%
⑰	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	16.75%	1.17%	12.48%
⑱	ピムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型)Dコース(為替ヘッジなし)	6.94%	2.00%	1.22%
⑲	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(年1回決算型)	8.70%	1.78%	-0.47%
⑳	しんきんJリートオープン(1年決算型)	8.69%	1.44%	8.23%
残高加重平均値(◆)		8.65%	1.55%	5.78%

【2020年3月】

順位	銘柄名	リスク	コスト	リターン
①	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	13.16%	1.46%	-0.25%
②	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	8.71%	1.46%	0.16%
③	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	7.23%	2.16%	-0.18%
④	D I A M高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	7.44%	1.51%	-3.03%
⑤	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	5.19%	1.67%	-0.56%
⑥	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	19.45%	1.13%	-4.84%
⑦	ニッセイ日本インカムオープン	0.81%	1.46%	0.27%
⑧	しんきん世界アロケーションファンド	2.77%	0.86%	-0.33%
⑨	しんきんインデックスファンド225	17.06%	2.05%	0.87%
⑩	三井住友・グローバル・リート・オープン	17.85%	1.51%	-7.21%
⑪	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)	18.09%	2.37%	-2.26%
⑫	D I A M高格付外債ファンド	12.16%	1.89%	-3.09%
⑬	三井住友・ヨーロッパ国債ファンド	6.48%	1.35%	-0.98%
⑭	しんきんJPX日経400オープン	16.09%	1.39%	-0.62%
⑮	しんきんJリートオープン(1年決算型)	13.11%	2.27%	-0.03%
⑯	コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)	3.73%	1.51%	0.09%
⑰	新光US-REITオープン(年1回決算型)	16.26%	1.17%	-2.15%
⑱	ピムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型)Dコース(為替ヘッジなし)	5.87%	2.00%	-1.21%
⑲	日経225リスクコントロールオープン	12.74%	1.78%	1.17%
⑳	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	18.17%	1.44%	3.62%
残高加重平均値(◆)		11.08%	1.55%	-0.74%